

# 四国健康 十日



## 徳島大学病院総合診療部

# 山口治隆病棟医長



受診先迷つたら総合診療部へ

化しているが故に、診療科を特定できない場合には地域の診療所や病院から紹介しづらいことがあります。また大学病院内でも、定期通院する患者さんに新たな症状が出現した場合や、紹介受診した患者さんがその診療科の疾患ではなかった場合があり、しかも紹介して終わりではなく、最

い、それまでに行つた検査や治療を総合して正しい診断にたどり着けるよう考えていく必要があります。その場で診断可能になります。その場合は複数の考慮すべくあります。その結果、お困りの症状とともにあれば、複数の考慮すべき疾患があり追加検査や他の診療科受診が必要なこともあります。その場合も紹介して終わりではなく、最

近は総合診療部（科）の設置されている医療機関も増えてきました。お困りの症状がございましたら、お近くなどの総合診療部（科）の受診についてかかりつけ医の先生にご相談いただければと思います。

徳島大学病院では2017年6月に総合診療部の診療が始まりました。原則として予約のうえ受診いただいており、大学病院外からの紹介55%、院内紹介41%、紹介なし4%（院内で発生した急な体調不良の方）となっています。

受診契機のトップ10は、発熱、倦怠感、関節痛、検査異常、めまい、感覺障害(しひれ)、頭痛、むくみ、息切れ、腹痛ですが、その他にもさまざまな症状の方が受診されています。

大学病院や大病院は専門科が充実していますが、専門分

く伺い、必要な身体診察を行

徳島大学病院の総合診療部

では、症状とその経緯を詳し

くあれば、紹介先を迷うことなく受診いただくことができるかと思います。

終診断にたどり着き治療に結びつしまでお付き合いさせていただいています。治療はその疾患に要求される専門性の度合いによって、総合診療部で行う場合や、専門診療科で受けさせていただく場合、地域医療機関に逆紹介して継続治療していく場合があります。